

2026年度

産総研-大学 連携成果講演会

産総研は全国76の大学と連携大学院協定を締結しており、その一部の大学とはマッチングファンドを活用した共同研究を推進しています。本講演会では、中部地域の3大学（名古屋大学、岐阜大学、名古屋工業大学）との共同研究から生まれた成果をご紹介しますとともに、技術の社会実装や新たな連携の可能性について、皆様と議論を深める機会としたいと考えています。

——— 本イベントはどなたでもお申込みいただけます ———



日時

2026 年

12月1日（火）

13:25～16:40（懇談会～17:50）

開催
場所

ウインクあいち 12 階 1202 会議室（会場開催のみ）

（懇談会：12 階 1208 会議室）

愛知県名古屋市中村区名駅四丁目 4 番 38 号

アクセス

<https://www.winc-aichi.jp/access/>

申込
方法

申込フォーム（二次元コード）から参加登録を行ってください。
登録後に受付完了のメールが送信されます。

申込
締切

2026 年 11 月 25 日（水）

定員に達し次第締切とさせていただきます。

参加費無料



お申込みはこちら ↘

<https://forms.cloud.microsoft/r/5UE3EnxVtH>

プログラム

13:25~13:30 開会挨拶・趣旨説明

13:30~14:00 **発表① 「ガラス・窯業原料の持続的供給に向けた国内新規鉱山・未利用資源の開発」**
(質疑応答含む) 産業技術総合研究所 地圏資源環境研究部門 鈴木 正哉 氏

目前に差し迫っているガラス・窯業原料の国内資源の枯渇化の現状と、今後の資源探査に資するデータの収集を目的として、愛知県瀬戸地域において実施した、ガラス原料である珪砂資源の産状と性質に関する調査結果について述べる。

14:00~14:30 **発表② 「先端SiC繊維を代替するセラミック被覆炭素繊維の開発に関する予備検討」**
(質疑応答含む) 産業技術総合研究所 マルチマテリアル研究部門 杉本 慶喜 氏

SiC繊維は高耐酸化性を有し高強度・高弾性率の繊維であるが製造コストが高いという課題がある。本検討ではSiC繊維よりコストが低い炭素繊維にSiCコーティングを行うことで耐酸化性を高めることが可能か検討した。

14:30~15:00 **発表③ 「実装再配線応用に向けた微細印刷技術による機能性ナノ材料パターニング」**
(質疑応答含む) 産業技術総合研究所 センシング技術研究部門 日下 靖之 氏

ナノ粒子インク塗膜の乾燥性を適切に制御することで、従来の数十倍の解像度を有する微細印刷パターニングが可能になる。名古屋大が開発した薄膜レオロジー計測技術でインク物性を評価した事例と、半導体後工程応用に向けた再配線形成の取り組みを紹介する。

15:00~15:10 休憩

15:10~15:40 **発表④ 「バイオ産業を活性化するタンパク質生産効率化技術」**
(質疑応答含む) 名古屋大学大学院 生命農学研究科 加藤 晃代 氏

バイオ産業は、石油依存や二酸化炭素排出を低減しながら、持続可能な成長が期待できる領域である。本講演では、バイオ産業に欠かせない「タンパク質」の生産効率を向上させるために開発中の新技術について紹介する。

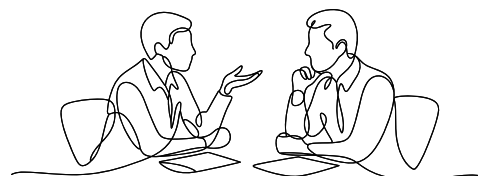
15:40~16:10 **発表⑤ 「准共通光路波面分割型広帯域FT-IRイメージング分光器の開発」**
(質疑応答含む) 名古屋大学大学院 環境学研究科 平原 靖大 氏

広い赤外波長域を一度にとらえ、画像の各点でスペクトルを測定できる小型FT-IRイメージング分光器を開発した。独自の波面分割光学系と補正技術により高精度化し、幅広い産業応用や将来の小型衛星・惑星探査への展開を目指す。

16:10~16:40 **発表⑥ 「脳情報に基づく触感価値の定量化」**
(質疑応答含む) 産業技術総合研究所 ウェルビーイング実装研究センター 金山 範明 氏

脳波やMRIを用いて触感の心地よさを客観的に評価する手法を紹介する。触覚情報処理と価値判断に関わる脳活動を解析し、製品・サービス開発に活用可能な指標を検討する。

16:50~17:50 懇談会（立食形式のフリーディスカッション・会費無料）



【お問い合わせ】



名古屋工業技術協会 HP

産総研コンソーシアム 名古屋工業技術協会 事務局

〒463-8560 名古屋市守山区桜坂四丁目 205 番地

国立研究開発法人産業技術総合研究所

中部センター産学官連携推進室 内

TEL : 052-736-7370 / E-mail : M-nagoya-kyoukai-ml@aist.go.jp

産総研
ともに挑む。つぎを創る。